

春の全国火災予防運動

3月1日から7日までの一週間にわたり、春季全国火災予防運動を実施します。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として、毎年春の3月1日から7日の消防記念日を最終日とする1週間と、秋の11月9日から15日の119番の日を起点とする1週間の年2回実施しているものです。

火は、私達の生活で欠かすことのできない道具であり、なくてはならない存在です。しかし、油断して目を離したその隙に瞬く間に大きくなり、生命及び財産を奪ってしまう重大な危険性が潜んでいます。空気が乾燥するこの時季、消防機関も警戒していますが、市民の皆さん一人ひとりの火災予防への取り組みが何より重要です。



平成21年度全国統一防火標語

「消えるまで ゆっくり火の元にらめっ子」

住宅防火

いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは絶対やめる。
- ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

火の用心

7つのポイント



ストーブには燃えやすいものを近づけない



寝たばこやたばこの投げ捨てをしない



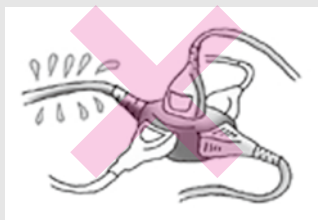
天ぷらを揚げるときは、その場を離れない



子どもには、マッチやライターで遊ばせない



風の強い時は
たき火をしない



電気器具は正しく使い、
たこ足配線はしない



家のまわりに燃えやすいものを置かない

そこで、火災を早期に見出し逃げ遅れを防ぐことを目的として、平成16年6月に消防法が改正され、全国一律に、平成18年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。未設置に対する罰則は、自己責任分野ですのではありません。しかし、火災から自分自身の身を守るためにも住宅用火災警報器を設置しましょう。

また、高齢化がますます進んでいくという予想から、このまま放置すると、今後とも死者数が増加することが考えられます。

日本全国の建物火災による死者のうち、住宅火災（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）による死者数は、約9割を占めています。そのうち約6割強が逃げ遅れによるものです。死者が発生した火災を時間帯別にみると、22時から翌朝6時までの睡眠時間帯に於ける死者が約4割強を占めています。火災の発生に気がつかないために、逃げ遅れて亡くなる方が多いものと思われます。

住宅用火災警報器を設置しましょう

火災の早期発見が重要です

火災が発生した時、目で煙や炎を見たり、鼻で焦げ臭いにおいを感じたり、耳でパチパチという音を感じたり…と五感によって気付くことがほとんどだと思います。しかし、それだけでは、就寝中や仕切られた部屋で物事に集中している時などには、火災に気付くのが遅れてしまいます。そこで、家庭内の火災をいち早くキャッチし、警報ブザーや音声によって知らせる装置が、住宅用火災警報器なのです。



▲火災警報器

初期消火には消火器を使いましょう

完全に鎮火したかよく注意して、極力全量を放射します。特に布団やごみ箱などの火災に際しては、鎮火後さらにバケツなどで水をかけておくなどすると再燃を防げます。

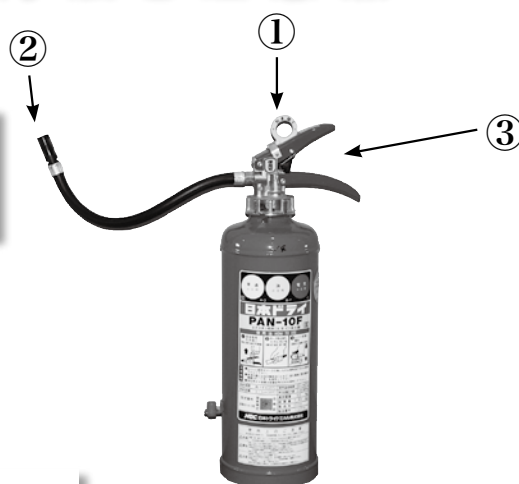
屋内で粉末消火器を用いると視界が悪くなるので、消火器を使用する時は、避難路に背を向ける等の注意が必要です。

一般に消火器で消火可能な火災は「天井を炎がなめる」以前の状態で、消火器で消火が困難であれば、避難しましょう。



使用方法と注意点

① 消火器上部の安全栓（黄色）を抜く。



② ホースをはずし、ノズルを火元に向ける。
(距離は3m程度。あまり近づいても効果は上がりず、かえって炎が吹き返して危険。)

③ 上下のレバーを握り薬剤を放射する。
(風上から炎の根本を手前から掃くように消火する。)

悪質販売に注意しましょう！

消火器の悪質販売が多発していますが、同様にこれからは住宅用火災警報器の悪質販売が増えることが予想されます。騙されないためには・・・

●「消防署から来ました」という言葉には用心！

消防本部及び消防署では、一般のご家庭に消火器や住宅用火災警報器を販売する事はありません。

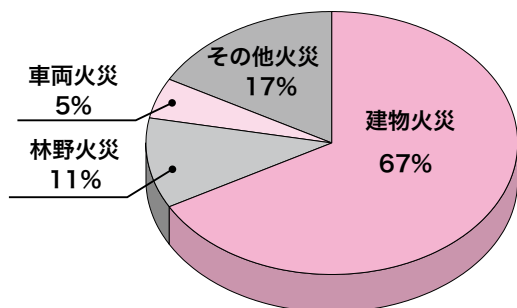
●異常に高い値段のものを売りつけられないように注意しましょう。

■問い合わせ先■ 消防本部予防課 ☎ 53-1156 (直通)

平成21年常陸大宮市の火災・救急・救助の概要

火 災

火災件数は、昨年より10件減少し18件でした。種別ごとにみると、建物火災が12件と多く、その他火災が3件、林野火災が2件、車両火災が1件でした。

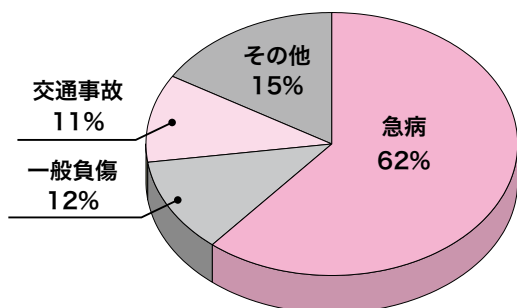


《火災発生状況》

区 分		H21年	前年比
火災件数	建物火災	12件	▲5件
	林野火災	2件	▲2件
	車両火災	1件	▲3件
	その他火災	3件	0件
	合 計	18件	▲10件
損 害 額		53,758千円	▲56,460千円
焼 損 面 積		2,037㎡	607㎡
死 者		1人	▲2人
負 傷 者		2人	▲3人
り 災	世 帯	14世帯	0世帯
	人 員	39人	10人

救 急

救急出場件数は、1,603件で昨年に比べ6件減少しましたが、搬送人員は1,542人で5人増加しました。これは、管内住民の30人に1人が搬送された事となります。1日当たりの救急出場件数はおよそ4.4件です。

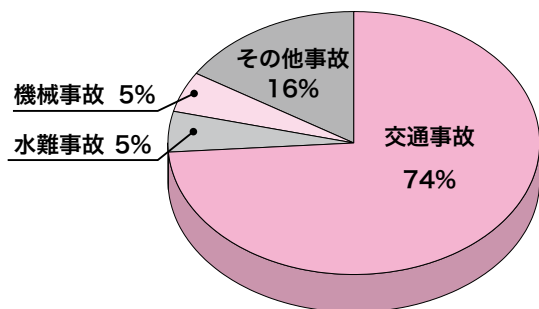


《救急出場状況》

区 分	H21年	前年比
出 場 件 数	1,603件	▲6件
搬 送 人 員	1,542人	5人
火 災	3件	▲4件
自 然 災 害	3件	3件
水 難 事 故	1件	▲1件
交 通 事 故	174件	24件
労 働 災 害	41件	3件
運 動 競 技	10件	▲3件
一 般 負 傷	199件	▲4件
加 害	7件	0件
自 損 行 為	19件	▲1件
急 病	997件	28件
そ の 他	149件	▲51件

救 助

救助出場件数は19件で、昨年に比べ1件増加しました。



《救助出場状況》

区 分	H21年	前年比
出 場 件 数	19件	1件
火 災	0件	0件
交 通 事 故	14件	1件
水 難 事 故	1件	▲2件
自 然 災 害	0件	0件
機 械 事 故	1件	0件
建 物 事 故	0件	0件
ガ ス 酸 欠 事 故	0件	0件
爆 発 事 故	0件	0件
そ の 他 事 故	3件	2件